



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

① 区町村名	大阪府枚方市
② 人口（※1）	408,966人 ()
③ 高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	65歳以上 22.76% () 75歳以上 8.28%
④ 取組の概要	高齢社会の進行によるひとり暮らしや高齢者夫婦世帯などの増加に伴い、認知症・虚弱高齢者等支援を必要とする方々への早期発見・対応を行なうため、地域の店舗に協力を呼びかけ、各協力店とのネットワークにより地域で安心して暮らせるまちづくりの一環として、協力店舗に「高齢者見守り110番」のステッカーを貼付していただき、身近な地域における高齢者の見守り活動に取り組んでいます。
⑤ 取組の特徴	地域包括支援センターの担当圏域ごとに各店舗に訪問し、包括の啓発並びに見守りに関しての趣旨目的を説明し、協力の承諾を得た高齢者見守り協力店に『高齢者見守り110番』のステッカーとチラシを配布し、ステッカーは目につきやすい所に貼っていただきます。協力店には、認知症高齢者や早急に支援を必要とされる高齢者と思われる方を発見、対応されたときに最寄の高齢者サポートセンターに電話連絡をしていただき、必要な支援ができるように連携を図るものです。
⑥ 開始年度	平成24年4月
⑦ 取組のこれまでの経緯	高齢化社会への移行が進む中、高齢者に医療、介護、介護予防、住まい、生活支援サービスを包括的かつ継続的に提供する地域包括ケアシステムを構築する必要性が指摘されています。高齢社会の進行によるひとり暮らしや高齢者夫婦世帯などの増加に伴い、支援を必要とする方々への早期発見・対応ができるよう始めたものです。
⑧ 主な利用者と人数	協力店舗は、枚方市内の各金融機関、新聞配達店、飲食物販売店などで、平成25年3月末現在で計380店舗。協力店舗より通報があった件数としては29件。
⑨ 取組の実施主体及び関連する団体・組織	市内に13カ所ある地域包括支援センター
⑩ 市区町村の関与（支援等）（※2）	通報があった際に、行政的な立場として立ち会いや介入が必要な場合は、担当の地域包括支援センター職員に同行し対応する。実際に、協力店の新聞配達店より通報が入り、安否確認をする際に立ち会い、警察・消防に協力を依頼したケースもあった。 各店舗への依頼にあたり、行政としても地域包括支援センターの活動を支援していることが分かるように、市が協力依頼の通知を作成した。また財政的支援として、協力店舗に貼っていただくステッカーに関しては、市の地域支援事業費より購入した。(264,600円/3000枚)





⑪ 国・都道府県の関 与（支援等）（※ 3）	特になし。
⑫ 取組の課題	特になし。
⑬ 今後の取組予定	地域の店舗だけでなく、ライフライン（水道、電気、ガス）との連携の必要性を感じ、水道局、関西電力、大阪ガスへの見守り協力依頼を行なった。今後はそれぞれの機関との連携を深め、見守り活動を更に強固なものへとしていきたい。 また、地域包括ケアシステム構築の面から、医療機関との連携の必要性も感じており、今後、医師会・歯科医師会・薬剤師会等を通じて各医療機関への協力依頼をさせていただく予定である。
⑭ その他	特になし。
⑮ 担当部署及び連 絡先	福祉部高齢社会室 地域連携グループ 072-841-1221（内線 3283）

- ※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。
- ※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
- ※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。





高齢者(要援護者)の見守り啓発活動に関する取り組み 実施要項

(目的) 高齢社会の進行により、ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯などの増加に伴ない支援を必要とする方々の早期発見・対応において包括圏域ごとに様々な店舗に協力を呼びかけ活動の説明を行なうとともに、各協力店とのネットワークにより地域で安心して暮らせるまちづくりの一環として取り組みを図ることを目的とします。

(実施期間) 平成24年4月1日より(通年)日常業務の啓発活動として取り組みを図る。

(実施方法) 枚方市高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)の担当圏域ごとに各店舗に訪問し包括の啓発並びに見守りに関しての趣旨目的を説明し、協力の承諾を得た店にチラシと高齢者見守り協力店ステッカーを配布し、ステッカーは目に付きやすい所に貼り付けていただく。

[協力依頼店]協力依頼店の選考は、地域性もあり各包括独自で決定し依頼する。

※協力依頼店 (参考)

- ①新聞配達店 ②飲食物販売店や牛乳などの配達店 ③接骨院 ④コンビニ ⑤喫茶店
- ⑥金融機関⑦スーパー⑧酒屋・米屋⑨電気店⑩薬局・薬店⑪商店街の各店舗など

(協力店の役割) ①認知症高齢者(認知症状の疑い)や早急に支援を必要とされる高齢者と思われる方を発見、対応された時に最寄の高齢者サポートセンターに電話連絡をいただき連携を図る。

②協力店の状況に応じて高齢者サポートセンター業務パンフレットを置いていただく。

(チラシ・ステッカーの作成) 見守り協力店啓発チラシ(A4版)及びステッカーは、枚方市高齢社会室において作成する。

(名簿作成・管理) 協力店名簿を作成し管理保管を行ないインフォーマル活動連携(ネットワーク)の位置づけとし取り扱いを行なう。

(評価) 6ヶ月(10月)で評価シートにより集約し社福部会に報告する。

(附則) この要項は、平成24年4月1日より施行する。





高齢者(要援護者)の見守り活動

≡ご協力のお願ひ!≡

認知症・虚弱高齢者など

早急な対応と支援が必要かなあ～と思われる高齢者を見受けられたら？
最寄の高齢者サポートセンターにご相談ください。

☆ 高齢者見守りステッカー



高齢者サポートセンター



(目的)

高齢社会の進行により、ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯などの増加に伴ない支援を必要とする方々の早期発見・対応において、包括圏域ごとに様々な店舗に協力を呼びかけ業務の説明を行ない、各協力店とのネットワークにより地域で安心して暮らせるまちづくりの一環として取り組みを図ることを目的としています。

○最寄の連絡・相談窓口は

枚方市高齢者サポートセンター

連絡先：

所在地：





※連絡でのチェックポイント

- ① ポストに郵便、新聞がたまっている・牛乳なども放置されている。
- ② 高齢者の服装が汚れている・乱れている。
- ③ 高齢者と会話が通じにくい、おかしい
- ④ その他、早急な支援が必要と感じられる高齢者。

◎枚方市高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)

※枚方市より業務委託(13箇所)を受けた社会福祉法人・医療法人などの民間事業者が担当圏域にセンターを設置し高齢者の皆様方の介護・医療・福祉などの総合相談業務を行なっています。

[13箇所のセンターの場所・連絡先]

圏域	センター名	住所	電話番号	担当地区名(小学校区)
1	社協こもれび	南楠葉1丁目30-1-203	856-9177	樟葉・樟葉南・樟葉北
2	社協ふれあい	養父西町27-35	850-0344	牧野・樟葉西
3	聖徳園	牧野阪2丁目5-1-204	836-5555	船橋・招提・平野・殿山第二
4	聖徳園なぎさ	渚西町1丁目6-1	807-3555	小倉・西牧野・磯島・殿山第一
5	サール・ナート	甲斐田町6番10-13	890-7770	山田・山田東・交北・中宮北・高陵
6	松徳会	宮之阪2丁目2-2	805-2165	中宮・明倫・桜丘・桜丘北
7	美郷会	北中振3丁目28-7	837-3288	蹠陀・蹠陀西・蹠陀東・伊加賀
8	みどり	岡東町17-31-201	845-2002	枚方・枚方第二・山之上
9	アイリス	香里ヶ丘9-9-1D47号棟S5号	853-1300	香里・開成・五常・香陽
10	大阪高齢者生協	高田2丁目25-13	854-8770	春日・川越・東香里
11	あおぞら	長尾元町6丁目2-15	852-6541	菅原・長尾・西長尾
12	大潤会	長尾谷町3丁目6-20	857-0330	田口山・菅原東・藤阪
13	東香会	津田元町1丁目6-5	897-7800	津田・津田南・氷室



